

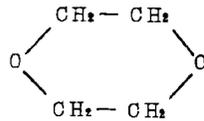
1. 4 ジオキサンの濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年7月22日～昭和50年10月14日

2. 試料名 1. 4 ジオキサン (試料No K-110)

分子式  $C_4H_8O_2$

構造式



3. 試験方法及び条件

環保業第5号 }  
 薬発第615号 } 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による  
 49基局第392号 }

3.1 試験装置及び機器

水系環境調節装置 流水式

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

3.2 試験条件

3.2.1 TLM 試験

(a) 試験魚

ヒメダカ平均体重0.22g 塩化第二水銀検定合格魚<sup>※</sup>

※田端健二 用水と廃水14, 1297~1303(1972)

(b) 分散剤

使用せず

(c) 試験温度

25 ± 2℃

(d) 結果

48 TLM 値 10500 ppm

3.2.2 濃縮度試験

(a) 試験魚

コイ, 平均体重 約35g

平均体長 約10cm

(b) 試験温度

25 ± 2℃

(c) 試験濃度

設定値

48 TLM 値 10500 ppm であるためこれの  $\frac{1}{1000}$

$\frac{1}{10000}$  を第1濃度区及び第2濃度区とした。

第1濃度区  $10500 \text{ ppm} \times \frac{1}{1000} \doteq 10 \text{ ppm}$

第2濃度区  $10500 \text{ ppm} \times \frac{1}{10000} \doteq 1 \text{ ppm}$

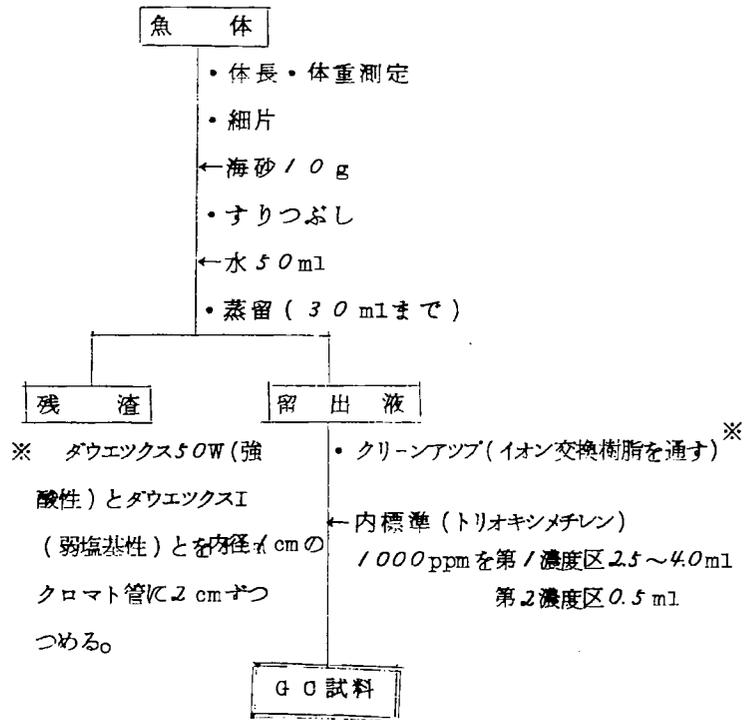
実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (ppm)

	2W	3W	4W	6W
第1濃度区	10.9	11.0	11.0	11.1
第2濃度区	1.2	1.1	1.2	1.2

(以下余白、次頁に続く)

3.2.3 分析試料の前処理



3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 10% ツイン-60

ガラスカラム 2mm $\phi$  × 2m

カラム温度 80℃

(以下次頁に続く)

4 試験結果

	2W	3W	4W	6W	付 図	付 表
第1濃度区	0.6 0.5	0.2 0.2	0.6 0.5	0.5 0.6	1, 4, 5	3, 5
第2濃度区	0.3 0.4	0.5 0.7	0.7 0.6	0.4 0.6	2, 4, 5	4, 5

5 その他

操作上特に問題はなかつた。

以 上